プログラム 11 月 16 日（日）

第 1 会場　5F エミネンスホール

8:40～11:10　シンポジウム 4【美容皮膚科の“今”を識る】

座長：石河 晃（東邦大）
山下 理絵（湘南藤沢形成外科クリニック R）
秋田 浩孝（藤田医大ばんたね病院）

SY4-1　レーザー治療のいま
秋田 浩孝（藤田医大ばんたね病院）

SY4-2　光（IPL）治療の過去と現在
根岸 圭（ウェルクリニック　東京都中央区）

SY4-3　進化を続けるデバイス治療―主にしわ、たるみ治療について―
宮田 成章（みやた形成外科・皮ふクリニック　東京都港区）

SY4-4　進化を続けるスキンケア
野本 真由美（野本真由美スキンケアクリニック　新潟県新潟市/野本真由美クリニック銀座　東京都中央区）

SY4-5　美をめぐる医療の今～善なき美は美にあらず、真ならざる美は美ならず～
青木 律（グリーンウッドスキンクリニック立川　東京都立川市/日本美容医療協会）

11:30～12:30　ランチョンセミナー 9【乾癬・化膿性汗腺炎治療の Next Stage】

座長：門野 岳史（聖マリアンナ医大）
常深 祐一郎（埼玉医大）

LS9-1　化膿性汗腺炎に対するビンゼレックスの可能性：病態から臨床応用まで
山口 さやか（琉球大）

LS9-2　乾癬バイオ治療の Next stage とビンゼレックスの位置づけ
新井 達（聖路加国際病院）

共催：ユーシービージャパン株式会社

12:40～15:10　シンポジウム 6【かゆみ研究最前線】

座長：髙森 建二（順天堂大浦安病院）
佐藤 貴浩（防衛医大）

SY6-1　かゆみの基礎
冨永 光俊（順天堂大環境医学研究所/順天堂かゆみ研究センター/順天堂大皮膚抗加齢再生医学講座）

SY6-2　痒みの質
石氏 陽三（東京慈恵会医大）

SY6-3　結節性痒疹のかゆみ
端本 宇志（防衛医大）

SY6-4　精神的ストレスが皮膚アレルギーの炎症とかゆみを悪化させるメカニズム
吉川 宗一郎[1]、浦上 仁志[2]、長尾 圭[1]、冨永 光俊[1]、高森 建二[1,3]
（[1]順天堂大環境医学研究所順天堂かゆみ研究センター（JIRC）、[2]島根大、[3]順天堂大浦安病院）

SY6-5　最新かゆみ治療の現状とメカニズム解析および展望
大塚 篤司（近畿大）

15:10～15:20　閉会式・次期会長挨拶

第２会場　5F コンコードボールルーム C

8:00～9:00　モーニングセミナー 1【炎症性皮膚疾患における最近の知見】

座長：高橋 英俊（豊水総合メディカルクリニック）

MS1-1　乾癬治療ベース薬アプレミラスト
猿渡 浩（猿渡ひふ科クリニック　鹿児島県鹿児島市）

MS1-2　開業医におけるピラミッド計画 2025～アプレミラストが示す現在と未来像～
菅井 順一（菅井皮膚科パークサイドクリニック　栃木県宇都宮市）

共催：アムジェン株式会社

9:10～11:10　会長企画 3【日本語で聴ける！！国際皮膚科シンポジウム】

座長：坪井 良治（西新宿サテライトクリニック）
眞鍋 求（医療法人惇慧会）

SP3-1　皮膚由来抗菌ペプチドによる皮膚バリア機能の強化とアトピー性皮膚炎症状の改善
ニヨンサバ フランソワ（順天堂大アトピー疾患研究センター/順天堂大国際教養学部）

SP3-2　A Life of Research and Mentorship in Medical Mycology
Yuping Ran（Department of West China Hospital, Sichuan University, Chengdu, China）

SP3-3　The practice of Integrative medicine and dermatology in Thailand
Pimpa Tantanasrigul（Institute of Dermatology, Thailand）

SP3-4　K-Medical Aesthetics の最新トレンド
Gun Young Ahn（Cheongdam Gowoonsesang Dr.G Clinic）

11:30～12:30 **ランチョンセミナー 10**
【疾病負荷の可視化～正常な皮膚バリア機能を目指した患者アプローチ～】

座長：五十嵐 敦之（いがらし皮膚科東五反田）
森実 真（岡山大）

LS10-1 疾病負荷を可視化して質の高い寛解を目指そう
～アトピー性皮膚炎の長期寛解を考える～
金子 高英（順天堂大浦安病院）

LS10-2 バリア正常化を目指したアトピー性皮膚炎の治療戦略
乃村 俊史（筑波大）

共催：サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

12:40～14:40 **シンポジウム 7**
【待ったなしのフットケア：明日から実践する知恵と勇気を学ぼう！】

座長：稲福 和宏（君津中央病院）
小川 尊資（順天堂大）

SY7-1 足は語る、母趾で診る！―明日から使える足病皮膚科の診療コツ―
久道 勝也（下北沢病院）

SY7-2 EVT 治療のいま～EVT を用いて CLTI を治療する～
尾﨑 大（順天堂大浦安病院）

SY7-3 難治性足潰瘍・壊疽に対する歩行を想定した再建手術：遊離皮弁＆バイパス＆創外固定
加賀谷 優[1,2,3]、橘 優子[3]、田中 里佳[1,2,3]
（[1]順天堂大順天堂医院形成外科、[2]順天堂大再生医学、
[3]順天堂大附属病院足の疾患センター）

SY7-4 フットケア外来とは何か、看護師は何をすべきか
橘 優子（順天堂大附属順天堂医院足の疾患センター）

第 3 会場　5F コンコードボールルーム B

9:10～11:10 **シンポジウム 5【ようこそ水疱症の世界へ～基礎から最近のトピックまで～】**

座長：山上 淳（東京女子医大）
赤坂 英二郎（弘前大）

SY5-1 基礎から学ぶ遺伝性水疱症の診断～分類と遺伝学的検査を中心に～
赤坂 英二郎（弘前大）

SY5-2 表皮水疱症治療の最近のトピック～栄養障害型表皮水疱症に対する遺伝子治療を中心に～
菊池 康（大阪大幹細胞遺伝子治療学共同研究講座）

SY5-3　自己免疫性水疱症の診断と抗体検査の実際
石井 文人（久留米大）

SY5-4　前進し続ける天疱瘡診療
高橋 勇人（慶應義塾大）

11:30～12:30　ランチョンセミナー 11【乾癬治療による新たな治療選択肢としてのバイオシミラーの意義】

座長：山口 由衣（横浜市立大）
多田 弥生（帝京大）

LS11-1　関西医科大学での乾癬センター～東海大学の乾癬・アトピーセンターの取り組みへ
山﨑 文和（東海大）

LS11-2　乾癬治療におけるバイオシミラーの意義
馬渕 智生（東海大）

共催：富士製薬工業株式会社

12:40～13:40　一般演題 18【治療、その他】

座長：川瀬 正昭（東京慈恵会医大葛飾医療センター）
三井 浩（東京逓信病院）

131　血管内焼灼術を行った難治性うっ滞性潰瘍の 2 例
佐藤 正則、岩田 紘佳、井波 真矢子、出月 健夫
NTT東日本関東病院

132　炭酸ガス含有疑似セラミド製剤の乾燥性敏感肌に対する有用性
原田 涼子[1]、鈴木 篤人[1]、松岡 めぐみ[1]、清水 映里[2]、荒川 貴行[2]、室田 浩之[3]
[1]花王株式会社スキンケア研究所、[2]花王株式会社解析科学研究所、[3]長崎大

133　化膿性汗腺炎（HS）におけるウパダシチニブ（UPA）第 2 相試験におけるバイオマーカー解析の結果
葉山 惟大[1]、E. Gudjonsson Johann[2]、C. Tsoi Lam[2]、Fann James[3]、
Janarthanam Rethavathi[3]、S. Camp Heidi[3]、Parmentier Julie[3]、Krishnaswamy Kumar[3]
[1]日本大、[2]UMich Med、[3]Abbvie

134　左足底に生じた慢性滑液包炎の 1 例
古市 祐樹、橋本 可奈子、安西 秀美
川崎市立井田病院

135　左示指に生じた神経周膜腫の 1 例
片岡 紅音、伊藤 一真、岸 晶子、林 伸和
虎の門病院

136　ロングパルス Nd：YAG レーザーによる思春期男性ざ瘡瘢痕への治療効果の 1 例
石田 和加
わか皮ふ科クリニック　新潟県上越市

137 顔面血管線維腫にシロリムスゲルが有効であった結節性硬化症の 1 例
久保 善嗣[1]、日浦 梓[1]、水川 伊津美[1]、竹島 良輔[1]、戸村 八蓉生[1]、福安 厚子[1]、
林 耕太郎[1]、田中 隆光[1]、鎌田 昌洋[1]、羽賀 敏博[2]、笹島 ゆう子[2]、多田 弥生[2]
[1]帝京大、[2]帝京大病理

13:40〜14:40 一般演題 19【母斑、色素・形成・代謝異常】

座長：出来尾 格（東京慈恵会医大）
人見 勝博（埼玉医大総合医療センター）

138 左口角に再発した皮膚限局性結節性アミロイドーシスの 1 例
中澤 菜月[1]、鈴木 瑞穂[1]、竹中 祐子[1]、種田 積子[2]、吉澤 佐恵子[2]、石黒 直子[1]
[1]東京女子医大、[2]東京女子医大病理診断科

139 結節性痒疹に併発したアミロイド苔癬にデュピルマブが奏効した 1 例
守田 達郎、葉山 惟大、藤田 英樹
日本大

140 Ankyloblepharon-ectodermal-defects-cleft lip /palate syndrome（AEC 症候群）の 1 例
岡本 礼奈[1]、松苗 響香[1]、坂本 光[1]、豊島 芳江[1]、田中 麻衣子[1]、齋藤 怜[2]、田中 暁生[2]
[1]県立広島病院、[2]広島大

141 ハイドロキノン関連色素斑に対して低侵襲的評価法としてのマイクロバイオプシーを行なった 1 例
石田 和加[1]、中山 和紀[2]
[1]わか皮ふ科クリニック　新潟県上越市、[2]ポーラ化成工業

142 非典型的な汗腺分泌部構造を有し基底細胞癌を合併した organoid nevus の 1 例
坂本 優乃[1]、高橋 千晶[1]、小松 麻衣[1]、中川 智絵[1]、岸部 麻里[1]、山本 明美[1]、
土井 春樹[2]、藤田 靖幸[1]
[1]旭川医大、[2]すえひろ皮ふ科クリニック　北海道旭川市

143 AI による「アザ・しみ」検出判別モデルの生成（フェイズ 1：第 2 報）
西堀 公治[1,2,4]、尾松 淳[3]、西堀 真依[1]、内山 美津希[2]、尾本 大輔[1]
[1]西堀形成外科　愛知県長久手市、[2]西堀レーザークリニック東京院　東京都中央区、
[3]東京大、[4]（株）ミライズ・メディカル

144 色素血管母斑症 phacomatosis pigmentovascularis の経験と治療戦略
西堀 公治[1,2]、西堀 真依[1]、内山 美津希[2]、尾本 大輔[1]
[1]西堀形成外科　愛知県長久手市、[2]西堀レーザークリニック東京院　東京都中央区

第４会場　5F コンコードボールルーム A

8:00～9:00　モーニングセミナー２【今こそ治そう、爪白癬】

座長：原田 和俊（東京医大）

MS2-1　高齢者にも安全に行える爪白癬治療を目指して
福田 知雄（埼玉医大総合医療センター）

MS2-2　課題をクリアしてネイリンを使いこなそう―治療時における健常爪の伸長に関する検討も含めて―
仲 弥（仲皮フ科クリニック　埼玉県川越市）

共催：佐藤製薬株式会社/エーザイ株式会社

9:10～10:10　教育講演８【治療ゴールを目指すアトピー性皮膚炎診療～SDM と T2T の活用～】

座長：常深 祐一郎（埼玉医大）
櫻井 直樹（シャルムクリニック）

EL8-1　クリニックにおける治療ゴールを目指したアトピー性皮膚炎診療
上出 良一（ひふのクリニック人形町　東京都中央区）

EL8-2　病院における治療ゴールを目指したアトピー性皮膚炎診療
勝田 倫江（東京慈恵会医大）

10:20～11:20　教育講演９【再考・乾癬診療】

座長：朝比奈 昭彦（東京慈恵会医大）
大久保 ゆかり（東京医大）

EL9-1　乾癬とアトピー性皮膚炎―共通点と相違点―
本田 哲也（浜松医大）

EL9-2　再考・乾癬診療―診断・治療の更なる発展をめざして―
山口 由衣（横浜市立大）

11:30～12:30　ランチョンセミナー 12【アトピー性皮膚炎における外用療法を再考する】

座長：秀 道広（広島市立病院機構）
清水 忠道（富山大）

LS12-1　アトピー性皮膚炎治療における保湿外用薬の役割と適正使用の重要性
中原 剛士（九州大）

LS12-2　外用療法を変える剤形の深い話
大谷 道輝（佐々木研究所）

共催：マルホ株式会社

12:40～13:40　日本皮膚科学会専門医指導医講習会

座長：今福 信一（福岡大）
山口 由衣（横浜市立大）

指導医 1　専門医制度の大きな変更点と専門医・指導医の傾向について
今福 信一（福岡大）

指導医 2　専門医受験と更新の注意点 2025
山口 由衣（横浜市立大）

第 5 会場　4F 花 A

8:00～9:00　モーニングセミナー 3
【Bio/JAKi Naïve 患者さんへサイバインコという選択肢】

座長：佐藤 友隆（帝京大ちば総合医療センター）
猪爪 隆史（千葉大）

MS3-1　JAK 阻害薬によるアトピー性皮膚炎の治療戦略―アブロシチニブ導入の実践ポイント―
井波 真矢子（NTT 東日本関東病院）

MS3-2　Bio/JAK 阻害薬未治療の AD 患者における新たな治療導入戦略～サイバインコ®の位置づけと実臨床での活用～
高村 さおり（埼玉医大総合医療センター）

共催：ファイザー株式会社/ヴィアトリス製薬合同会社

9:10～10:10　共通講習 1【共通講習・医療倫理】

座長：川内 康弘（東京医大茨城医療センター）

共通 1　診療における同意と個人情報
古田 淳一（筑波大医療情報マネジメント学）

10:20～11:20　共通講習 2【共通講習・医療安全】

座長：植木 理恵（順天堂大順天堂東京江東高齢者医療センター）

共通 2　医療現場の現状～守りの美学
小林 弘幸（順天堂大病院管理学）

11:30～12:30　ランチョンセミナー 13【爪白癬とフットケア】

座長：比留間 政太郎（比留間皮膚科耳鼻科医院）
福田 知雄（埼玉医大総合医療センター）

LS13-1　足の健康を守る爪白癬治療～正しい診断と治療、そしてフットケアの重要性～
木村 有太子（順天堂大）

LS13-2　足病対策のためには市民啓発～みんなでみよう！みんなの足！～
岡田 克之（桐生厚生総合病院）

共催：科研製薬株式会社

12:40～13:40　共通講習 3【共通講習・感染対策】

座長：長谷川 敏男（順天堂大静岡病院）

共通 3　巨大パンデミックの教訓～COVID-19 パンデミックから人類への啓示～
佐々木 信一（順天堂大浦安病院呼吸器内科）

第 6 会場　4F 錦

8:00～9:00　モーニングセミナー 4

座長：福永 淳（大阪医科薬科大）

MS4　蕁麻疹の病態と治療の最新知見
千貫 祐子（島根大）

共催：田辺三菱製薬株式会社/帝國製薬株式会社

9:10～11:10　スポンサードシンポジウム 2
【炎症性皮膚疾患：治療ゴールを見据えた治療戦略】

座長：大日 輝記（香川大）
川崎 洋（慶應義塾大）

SSY2-1　乾癬治療における長期的視点の重要性
宮野 恭平（埼玉医大）

SSY2-2　患者視点で考える化膿性汗腺炎治療
岩田 洋平（藤田医大）

SSY2-3　アトピー性皮膚炎における SDM について考える～共に目指す治療ゴール～
益田 浩司（京都府立医大）

SSY2-4　治療ゴール達成を見据えたアトピー性皮膚炎の治療戦略
―かゆみ・皮疹双方の改善意義―
松下 貴史（金沢大）

共催：アッヴィ合同会社

11:30～12:30 **ランチョンセミナー 14**
【アトピー性皮膚炎における長期寛解維持を目指して】

座長：江藤 隆史（あたご皮フ科）
上出 良一（ひふのクリニック人形町）

LS14-1 最適なアトピー性皮膚炎治療を再考する～潜在的炎症へのアプローチ～
吉原 渚（順天堂大）

LS14-2 アトピー性皮膚炎外用療法におけるモイゼルト軟膏のポジショニング
佐々木 豪（佐々木皮膚科　岩手県盛岡市）

共催：大塚製薬株式会社

14:00～16:00 **2025 年度日本皮膚科学会 東京支部企画研修講習会**
【経験を未来へ！若手皮膚科医に伝えたいアトピー治療薬＆真菌症対策】

座長：神田 奈緒子（日本医大千葉北総病院）

研修 1 アトピー性皮膚炎治療アップデート
樋口 哲也（東邦大医療センター佐倉病院）

研修 2 若手皮膚科医に伝えたいアトピー性皮膚炎で注意すべき感染症～皮膚真菌症を中心に～
佐藤 友隆（帝京大ちば総合医療センター）

第 7 会場　4F 扇

8:00～10:00 **スポンサードシンポジウム 3**
一般社団法人日本乾癬学会/マルホ株式会社　乾癬教育プログラム：P-MEEL
【明日から役立つ！乾癬の“なるほど”とスキルアップの第一歩】

座長：山﨑 文和（東海大）
多田 弥生（帝京大）
朝比奈 昭彦（東京慈恵会医大）
藤田 英樹（日本大）

Opening Remarks
森田 明理（名古屋市立大）

SSY3-1 病態から難治部位、PsD 最新トピックスまで
馬屋原 孝恒（川崎医大）

SSY3-2 皮膚と関節のサインを読み解く～乾癬性関節炎を見抜くための臨床的視点～
井汲 菜摘（日本大）

SSY3-3 患者さんとともに歩む乾癬治療：治療選択と長期的視点
辻 学（九州大病院油症ダイオキシン研究診療センター）

対談：乾癬を通じたキャリア形成
総合司会：藤田 英樹（日本大）
インタビュアー：渡邉 玲（順天堂大）
インタビュイー：黒木 香奈（東京医大）
小池 雄太（長崎大）

Closing Remarks
大槻 マミ太郎（自治医大）

共催：一般社団法人日本乾癬学会/マルホ株式会社

11:30～12:30 ランチョンセミナー 15

座長：中野 俊二（中野医院）

LS15 パルス発振式ニードル RF を活用した赤ら顔治療：その原理と理論は？
伊東 秀記（立川皮膚科クリニック 東京都立川市）

共催：マーベラスビューティージャパン株式会社

14:00～16:00 2025 年度日本皮膚科学会認定美容皮膚科・レーザー指導専門医研修会

座長：尾見 徳弥（クイーンズスクエアメディカルセンター）
下田 貴子（しもだ皮ふ科クリニック）
角田 加奈子（岩手医大）

美容レーザーの歴史
青木 律（グリーンウッドクリニック立川）

美容外来でも知っておきたい腫瘍性病変について
鵜飼 佳子（東近江総合医療センター）

美容皮膚科入門必要な基礎知識
若林 麻記子（マキ皮フ科クリニック）

第 8 会場 3F グレース

9:10～10:15 一般演題 16【間葉系腫瘍（リンパ腫含む）②】

座長：土橋 人士（順天堂大）
宮垣 朝光（聖マリアンナ医大）

115 浅側頭動脈由来動静脈奇形に対して摘出術を施行した 1 例
呉 暄、伊丹 綾香、岡野 達郎、宮垣 朝光、門野 岳史
聖マリアンナ医大

116 広範な可動域を獲得した mobile encapsulated lipoma の 1 例
野口 藍子[1,2]、大石 泰史[2]、菅野 恭子[1]、山本 明美[1]、藤田 靖幸[1]
[1]旭川医大、[2]名寄市立総合病院

117 右大腿に生じた線維上皮性ポリープ内に表皮嚢腫を合併していた 1 例
鈴木 健太[1]、大原 満梨奈[1]、渡辺 大輔[2]
[1]多治見市民病院、[2]愛知医大

118 左第 4 趾原発の Ewing 肉腫の 1 例
大城 結衣、宮城 拓也、山口 さやか、柳 輝希、高橋 健造
琉球大

119 眉間に発生した隆起性皮膚線維肉腫と母斑細胞母斑の衝突腫瘍の 1 例
中川 有以、中村 元樹、今村 永理奈、中村 翠、樋口 桃子、西村 香菜、甚目 航太、吉満 眞紀、加納 慎二、加藤 裕史、森田 明理
名古屋市立大

120 左上腕皮膚腫瘍として紹介され、高悪性度のため左上腕を切断した未分化多形肉腫の 1 例
中井 厚徳[1]、岩下 宣彦[1]、渡辺 大輔[1]、河南 勝久[2]
[1]愛知医大、[2]愛知医大整形外科

121 長期寛解後の再発時に初めて皮疹を呈した左精巣原発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例
江波戸 一平、矢野 優美子、水地 大輔、三井 浩
東京逓信病院

122 パクリタキセルでの維持化学療法中止後も長期間再発なく経過した頭部血管肉腫の 4 例
石月 翔一郎[1]、上原 治朗[1]、鈴木 魁杜[1]、関山 竜五[1]、青木 佐由美[1]、後藤 啓介[2]、秋谷 昌史[2]、北野 滋久[3]、吉野 公二[1]
[1]がん研究会有明病院、[2]がん研究会有明病院病理部、
[3]がん研究会有明病院先端医療開発科

10:15～11:20 一般演題 17【上皮系腫瘍、付属器腫瘍①】

座長：帆足 俊彦（日本医大）
西澤 綾（東京都立駒込病院）

123 Epidermotropism を伴う、多数の皮膚転移を生じた下肢有棘細胞癌の 1 例
四十竹 麗、中村 貴之、小篠 映子、松吉 奈穂、乃村 俊史
筑波大

124 IL-17 阻害薬使用中に急速に増大した化膿性汗腺炎患者に生じた有棘細胞癌
中 奈津実、藤井 一恭、山村 優人、臼居 駿也、中嶋 千紗、大塚 篤司
近畿大

125 ICI 療法中の再発病変に対する放射線療法後にリンパ節転移病変の縮小を認めた尾骨部有棘細胞癌の 1 例
近藤 章生[1]、猪股 知微[1]、新井 翔[1]、清水 知道[1]、山崎 文和[1]、三上 達也[2]、海野 俊徳[3]、馬渕 智生[1]
[1]東海大、[2]東海大放射線治療科、[3]秦野赤十字病院

126 前胸部に生じた類上皮血管内皮腫の 1 例
佐藤 弘明[1]、高橋 啓[2]、鈴木 琢[1]
[1]横浜総合病院、[2]東邦大病理診断科

127 ANTERA 3D™による乳児血管腫への VbeamII ™治療効果の定量解析と治療回数予測
田中 優希[1]、須賀 望[1,2]、上野 桃[1,2]、中西 佑以子[1,3]、米山 寿子[1]、三石 剛[1]
[1]さいたま赤十字病院、[2]順天堂大浦安病院、[3]埼玉医大

128 寡分割照射法が奏功したメルケル細胞癌の 1 例
飯島 真珠[1]、大森 怜奈[1]、岡野 達郎[2]、宮垣 朝光[2]、門野 岳史[2]、杉浦 善弥[3]、
大池 信之[3]
[1]町田市民病院、[2]聖マリアンナ医大、[3]聖マリアンナ医大病理診断科

129 女性の陰部に生じた Pigmented apocrine hamartoma の 1 例
小野寺 潤一[1]、高杉 亜里紗[1]、入江 理恵[2]、長村 義之[2]、石橋 正史[1]
[1]日本鋼管病院、[2]日本鋼管病院病理診断科

130 Pigmented mammary Paget's disease の 1 例
高野 彩[1]、小川 瞭太郎[1]、小林 祐香莉[1]、宮本 樹里亜[1]、石崎 純子[1]、梅垣 知子[1]、
田中 勝[2]
[1]東京女子医大足立医療センター、[2]杏林大

11:30〜12:30 ランチョンセミナー 16
【円形脱毛症患者さんの広がる治療選択肢 〜リットフーロによる治療タイミング〜】

座長：伊藤 泰介（浜松医大）

LS16-1 JAK 阻害薬による治療介入の意義
福田 桂太郎（理化学研究所生命医科学研究センター皮膚恒常性研究チーム/慶應義塾大）

LS16-2 リットフーロの実地使用―適切な患者選定と実臨床での課題
今西 久幹（大阪公立大）

共催：ファイザー株式会社/ヴィアトリス製薬合同会社

12:40～13:45　一般演題 20【上皮系腫瘍、付属器腫瘍②】

座長：加藤 雪彦（東京医大八王子医療センター）
岩澤 うつぎ（東京都立広尾病院）

145　*PLCD1* 遺伝子に新規バリアントを同定した多発性外毛根鞘嚢腫の家族例（続報）
雷 小峰[1]、和泉 光晃[1]、城内 和史[1]、奥山 奈津子[1]、小林 香映[1]、矢持 淑子[2]、
下村 裕[3]、猪又 直子[1]
[1]昭和医大、[2]昭和医大臨床病理診断学、[3]山口大

146　線状基底細胞癌の２例
中村 翠、中村 元樹、甚目 航太、吉満 眞紀、加納 慎二、加藤 裕史、森田 明理
名古屋市立大

147　耳介部に生じ、急速に増大した基底細胞癌と有棘細胞癌の衝突癌の１例
内ヶ崎 祥乃、栗山 裕子、石井 徹、齋藤 暢胤、石崎 真由、井上 裕太、
齋藤 晋太郎、安田 正人、茂木 精一郎
群馬大

148　脳浸潤をきたした頭頂部有棘細胞癌の１例
金武 敬人、森坂 広行、木下 佳苗、野村 萌、横井 一範、種村 篤、藤本 学
大阪大

149　軽微な皮疹で遠隔転移を来した乳房外パジェット病の３例
瀬下 治孝[1]、緒方 大[1]、栗崎 道賢[1]、酒井 良樹[1]、加瀬 美咲[1]、鹿毛 勇太[1]、
中野 英司[1]、山﨑 直也[1]、岸川 さつき[2]、新井 清信[3]、並川 健二郎[1]
[1]国立がん研究センター中央病院、[2]国立がん研究センター中央病院病理診断科、
[3]昭和大横浜市北部病院形成外科

150　扁平母斑に対するピコ秒レーザー治療の有効性―ANTERA3D™での解析―
上野 桃[1,2]、須賀 望[1,2]、田中 優希[1,2]、中西 佑以子[1,3]、宇佐美 圭恵[1,2]、米山 寿子[1]、
三石 剛[1]
[1]日本赤十字社さいたま赤十字病院、[2]順天堂大浦安病院、[3]埼玉医大

151　外科医の手指に生じた放射線角化症３例―悪性度の検討を含めて
原 詩織、星野 優、梅舟 莉加、今井 みちる、梅林 芳弘、加藤 雪彦
東京医大八王子医療センター

152　鼠径リンパ節を介さず骨盤内へ転移した左大腿有棘細胞癌の１例
金 美娟、角 総一郎、吉澤 祐美恵、森戸 和奈、佐藤 篤子、神谷 浩二、
大槻 マミ太郎、小宮根 真弓
自治医大

13:45～14:40　一般演題 21【間葉系腫瘍（リンパ腫含む）③、上皮系腫瘍・付属器腫瘍③】

座長：森村 壮志（国際医療福祉大三田病院）
石崎 純子（東京女子医大足立医療センター）

153　多発リンパ節転移を認めた乳房外パジェット病に対してニボルマブが奏効した 1 例
盛岡 拓哉、小坂 祐子、陣内 駿一、高橋 聡
国立がん研究センター東病院

154　当科における切除不能な有棘細胞癌に対して抗 PD-1 抗体治療を行った 4 例
木納 美芙佑、高井 彩也華、深谷 薫子、山本 崇広、赤井 望、倉橋 和之、
端本 宇志、佐藤 貴浩
防衛医大

155　古典型カポジ肉腫の 2 例
程 真[1]、加賀 麻弥[1,2]、深井 達夫[2]、渡邉 玲[1]
[1]順天堂医院、[2]順天堂大練馬病院

156　ランダム皮膚生検で血管内浸潤を示した diffuse large B cell lymphoma（DLBCL）の 1 例
福田 美帆、平田 央、鶴田 大輔
大阪公立大

157　ベキサロテン投与中に単発腫瘤の出現を繰り返す菌状息肉症の 1 例
吉川 顕太、金子 高英、岸 龍馬、高森 建二、須賀 康
順天堂大浦安病院

158　超高齢者に生じた頭部血管肉腫に対して複数ラインによる化学療法を施行した 1 例
小坂 祐子、盛岡 拓哉、陣内 駿一、高橋 聡
国立がん研究センター東病院

HS 会場①　42F 高尾

9:10～11:10　ハンズオンセミナー 5
【バーチャルスライド演習　病理組織の苦手意識を払拭しよう！】

座長：山本 明美（旭川医大名誉教授）
藤田 靖幸（旭川医大）

HS5　皮膚病理の超基本：顕微鏡の使い方と水疱症の症例解説
藤田 靖幸（旭川医大）

VS ソフトの使い方と軟部腫瘍の症例解説
福本 隆也（福本皮フ病理診断科　奈良県奈良市）

リンパ腫の症例解説（T 細胞性を中心に）。皮膚病理専門に進んだきっかけを含めて
阿南 隆（札幌皮膚病理診断科　北海道札幌市）

interface dermatitis の症例解説。細胞を見る時の注意、手術・生検時の注意点を含めて
山本 明美（旭川医大名誉教授）

協力：メドメイン株式会社

12:40〜14:40 **ハンズオンセミナー 7**
【次世代の医療者のためのリーダーシップとウェルビーイング】

座長：山本 明美（旭川医大名誉教授）
多田 弥生（帝京大）

HS7

次世代の医療者のためのリーダーシップ教育、新学会（https://www.weleadjp.com/）の紹介
赤嶺 陽子（（一社）日本リーダーシップ・ウェルビーイング医学会 代表理事、大阪市立総合医療センター小児集中治療部）

次世代の医療者のための DE&I、指導医・組織へのアプローチ
山内 かづ代（（一社）日本リーダーシップ・ウェルビーイング医学会 理事、獨協医大医学教育学講座、日本整形外科学会前理事）

次世代の医療者のためのコーチングのすすめ
山本 明美（（一社）日本リーダーシップ・ウェルビーイング医学会 理事、旭川医大名誉教授）

HS 会場② 42F 富士

9:10〜11:10 **ハンズオンセミナー 6【パッチテスト・プリックテストを身に付けよう】**

オーガナイザー：矢上 晶子（藤田医大ばんたね病院総合アレルギー科）
伊藤 明子（ながたクリニック）

HS6

タスクフォース：中田 土起丈（昭和医大藤が丘病院）
鷲崎 久美子（大森町皮ふ科　東京都大田区）
伊藤 崇（東邦大）
沼田 貴史（東京医大）
鷲尾 健（神戸市立西神戸医療センター）
修了証書授与：金澤 伸雄（日本皮膚免疫アレルギー学会学術教育委員会委員長）
（代理授与：矢上 晶子（日本皮膚免疫アレルギー学会））
総括：矢上 晶子（藤田医大ばんたね病院総合アレルギー科）

共催：（一社）日本皮膚免疫アレルギー学会、佐藤製薬株式会社、鳥居薬品株式会社、株式会社スマートプラクティスジャパン

13:20～14:20	ハンズオンセミナー８ 【真菌症原因菌の検鏡の仕方～基礎から応用まで～（白癬、カンジダ、癜風、脂漏性皮膚炎の検鏡方法）】

オーガナイザー：清 佳浩（帝京大溝口病院）

HS8

演者・術者：清 佳浩（帝京大溝口病院）
チューター：竹花 麻己（帝京大溝口病院）
飯島 一祥（帝京大溝口病院）
塚田 遼（帝京大溝口病院）

協力：持田ヘルスケア株式会社